

2018年9月6日

東芝プラントシステム株式会社

(東証一部、証券コード：1983)

大規模バイオマス発電プロジェクトを受注

当社は、このたび、H.I.S. SUPER 電力株式会社が宮城県角田市に新設する「H.I.S.角田バイオマスパーク」発電所の建設プロジェクトを受注いたしました。

今回受注したプロジェクトは、9,789kW のディーゼルエンジン発電機を4台設置して発電し、更にはその排熱を利用して1,940kW の蒸気タービンによる発電を行う総出力41,100kW のバイオマス専焼発電設備です。当社は、本プロジェクトにおいて、プロジェクト管理、エンジニアリング、土木建築工事、各種機器・設備の手配・供給、据付工事及び試運転調整までをEPC*で請負い、2018年12月に現地着工、2020年3月の完工を目指します。

2011年3月の東日本大震災の影響により、国内のエネルギー事情は大きく変化し、エネルギー自給率向上の一環としてFIT制度（再生可能エネルギーの固定価格買取制度）が導入され、また、世界的には2015年のパリ協定や2017年のCOP23での採択を受け、地球温暖化防止対策として脱炭素社会の実現に向けた取り組みが加速しています。このような状況の中、当社は、中小型水力発電やメガソーラー発電設備を数多く手掛け、再生可能エネルギー分野における電力の安定供給に貢献してまいりました。これらの実績がお客様に評価され、本プロジェクトにおいては事業化計画の初期段階から参画要請をいただき、今般EPCによる受注に至ったものです。

バイオマス発電はFIT制度の適用対象であり、既に認定を取得しているプロジェクトや、新規に建設を計画しているプロジェクトも数多くあります。当社は、これらの案件の受注に向け積極的な営業活動を展開し、事業を通じての環境負荷低減への取り組みを今後も継続してまいります。

*EPC：Engineering（設計）、Procurement（調達）、Construction（施工・試運転）までの一括請負

以上

本件に関する問合せ先

東芝プラントシステム株式会社 業務部 広報担当

TEL：045-500-7012

e-mail：kouhou@toshiba-tpsc.co.jp

<完成予定図>

